

- LBVD は3T/S のみカバーしている(Myinmu を除く)。職員は T/S 毎に 2-5 名ほど。ワクチン接種(有料)、飼育方法についてのトレーニング、畜産品の品質管理(生産場所の衛生管理指導など)を行っている。各 T/S には獣医事務所があり、LBVD の支援が必要になった際にはまずこの獣医事務所にコンタクトする。すると、通常1~2 日の間に獣医が村を訪問・指導する。LBVD のほかには青十字という、家畜衛生を行う全国組織がサービスを展開している。
- 農民にとって、畜産に参入する際の最大の障壁になっているのは資金不足である。
- 伝統的に草木染を行っていたが、現在は行っていない。染料となる植物は、今も多く自生している。Me Yaing(藍、青の染料)、Ngu Sat(黄色)、Ta Naun(赤、マメ科高木)など。これら植物は乾燥に強い。

3 月 12 日(土)		Yesakyaw TS Office (MAS)	Sagaing District
面会者	氏名	役職	所属先
要点			
<p>タナカ線香工場</p> <p>タナカの香り入り線香を製造。全国に販売。競争は激しい。一束 200 本、46~50Ks で買う。労賃は 1 日 500Ks。労働者のうち子供多く(現在は学校が休みのため)、夏休み 3 か月及びこのほかに 20 日間の休みがあり、そのときには大体ここに来て働く。1 日 6,000 本作れる。線香の塗料を塗る機械は 4,400Ks。親はジャガリー作業に従事。</p> <p>パコック近隣の山の方にあるシェマタウンは、タナカの産地である。</p>			

3 月 13 日(日)		Sha Khawe Lay Vi, Sanpe Vi.Tract	Sagaing District
面会者	氏名	役職	所属先
	U Shwe Tun	村落区長	
	U Naing Oo	村長	
要点			
<ul style="list-style-type: none"> • Sha Khawe Lay Vi 35 世帯 • Vi T は 401 世帯。 • 35 中 13 世帯は農民、残りは土地なし労働者。天水地域。 • 雨季には、ゴマ、ソルガム、キ豆、Green gram。乾季には、ラブラブ Bean、コットン、ピーナッツ、タバコ、ヒヨコ豆。雨季には稲作も可能。 • 今年は天気が悪く、ゴマは 3 エーカーで 2 バスケットのみの収穫。よいときは 10 バスケット収穫できる。ソルガムもだめだった。キ豆はよかった。なぜなら、乾燥に強いから。キ豆とゴマの混作を行っている。雨が多いと、Pigeon pea の収穫は少なくなる。ゴマとトレードオフの関係にある。 • この村には染料の原料となる植物はないが、伝統薬の原料となる植物がある。タマナイ・チャ 			

マナイ、セントウンマヌエは飲み薬で多くの病気に効き、タマリンド、ジャーマニーは塗り薬で切り傷などに効く。

- 村内に手織り技術を持つ人が 3 人おり、自分で衣服も作っている。つむぎも行うが、染色は隣村に委託する(赤 800Ks/ビス、緑 2,000Ks/ビス、青 1,000Ks/ビス)。全て自家消費用である。理由は、原料の綿花が十分に収穫できないからである。織機は木製で、村の大工に頼めば 10,500Ks で作ってもらえる。商品としては防寒用ブランケットで、市場では 2,000Ks 程度で売られている。他の村人に技術を指導できる。
- 竹細工(椅子)は、原材料費 250Ks で作り 750Ks で売る。村内に 2 人のみ製作可能。商品は道路沿いに展示し、通りすがりの客が買う程度であり、マーケティング活動は行っていない。仲買人も入っていない。1 か月に一つ売れる程度であり、製作者の主な収入源は日雇い労働である。

3月13日(日)		Lai Lan Vi,Chauk TS	
面会者	氏名	役職	所属先
	U Tin Win	村落区長	
要点			
<ul style="list-style-type: none"> • Lai Lan Vi Vi Tract は 400 世帯以上 • 69 世帯に水利組合。会費なし。せきが運河から 6 か所。空ける幅を変える。グループは自然発生的にできた。 • 三毛作ができるよう水を利用できるようになったことが、成功例として紹介された理由だと思う。 • 手工芸なし。自家消費もない。その理由としては、三毛作が可能であるため。 			

3月13日(日)		Ta Paun Vi, Kusi Vi.t, Chauk TS	
面会者	氏名	役職	所属先
	U Tang Myint	村落区長	
		TS PDC 議長同席	PDC
要点			
<ul style="list-style-type: none"> • Vi.に一つ水利組合 2 年前設立。工事未了のためまだ水配分していない。他から聞いて、自分たちで組合を設立した。水路は自分たちで作った。灌漑局がサポート。機械は貸し出し。 • 現在 雨季稲作、ヒヨコ豆、のみ。雨季稲作では、40~80Basket/エーカー、ヒヨコ豆 10~15Basket/エーカー。米種:モトカ・シュエトエイエ HYV • 灌漑局の技術支援を得る必要が生じた際には、村人はまず T/S の PDC チェアマンのところへ行き、支援を要請する。チェアマンの許可が出ると、同時にチェアマン経由で灌漑局に要請が行き、灌漑局が村を訪問して支援を開始する仕組みとなっている。 			

3月14日(月)		AMDA 事務所及び活動サイト (Dan Vi)	
面会者	氏名	役職	所属先
	藤田氏	スタッフ	AMDA
要点			
<ul style="list-style-type: none"> ● ミャンマーでは 95 年に活動開始。特に小児病、巡回診療。住民がボランティアして活動。 ● 給食センターは、週 3 回(昼・夕)を交代で作る。食材は前日に市場で買ってくる。ニワトリ肉、牛肉、食用油は村内で調達。 ● 「栄養素の歌」は AMDA スタッフが作り、当初は母親たちの意識向上を狙って導入したが、今では子供も暗誦するまでになった。栄養素が流れ出ないように、野菜などは切ってから洗う、米は煮るのではなくて蒸す、など同活動から得た知識は家庭でも実践しており、また隣人にも伝えている。保健衛生に関心を持つ人は持つが、持たない人は持たないまま。石鹸で手洗いの習慣がついた。助産婦が 6 回ほど。 ● 料理、栄養素に関する知識向上、手洗い、爪切り、子供の健康チェック法、など衛生に関する意識向上が見られる。 ● 参加型活動を導入してから村人が積極的に参加するようになった。プロジェクト終了を見据えて共同型巡回指導などを始めている。サブセンターで売る菓の代金に上乗せして活動資金を維持しようとしている。 ● マイクロファイナンス(MF)は graduation の問題。数千人の受益者。3 年くらい返済率 100%。家畜、物売りが対象となっている。ニワトリは病気になりやすい。物売りは町で買ってきて村で売る。農作物を買いにくる業者あり。 			

3月14日(月)		PACT	
面会者	氏名	役職	所属先
		資料提出済み	PACT
要点			
<ul style="list-style-type: none"> ● 改良グラミン方式を採用。週 2 回の会合に改良した理由は、距離が遠いため、週一回では受益者が大変すぎるため。 ● 高返済率の理由: グループ内のメンバーの繋がりの強さのためと思われる。繋がりの強い者同士でのみグループを形成している。まったくの最貧困層は、自分ガリスクを負いたくないこと、また、周囲も警戒して 5 人組の仲間にいれたくないこと、から、排除されている点問題である。 ● MIS システムは、コンピュータを使っていないが、しっかりしている。 ● PACT ミャンマー人スタッフの多くは、MADB や協同組合省の OB である。 			

3月14日(月)		Zinmin Vi Tract、Chaukpadaung TSP	
面会者	氏名	役職	所属先
	U Maung Shwe	村長	
要点			
<ul style="list-style-type: none"> • Vi.Tの中に二つの村がある。ミンター村(268世帯中、土地なし130世帯)ジンミン村(280世帯中、土地なし110世帯) • 伝統染色方法はあるが、現在は化学染料を使用している。伝統的な染料としては、マジージ(タマリンドの種、茶色)タウチュンカウ(茶色)(?)、グアバの葉(オレンジと茶の中間色(?))または赤みの強いページュがある。 • 伝統薬の原料となる植物には、タマナイ・チャムナイ、チェイマン、センドウマヌエがある。タマナイ・チャムナイは、草全部をせんじて飲む。センドウマヌエはツルを日干しし、細かく切って粉末にし、ハチミツと混ぜて飲む。全て自家消費で、販売しない(売れないと思っている)。タブレット型の伝統薬は、薬局で売っている。 • 竹はない。生産者が取ってくる(買わない)。竹バスケット製作。一人が一日一つ程生産可。売価は、大きいものは300Ks、小さい200Ksである。 • 綿織物。原材料である綿花は、自家栽培している。マーケットまで5マイル。そこまでは歩く。又は、卸売り人が1か月に一度ここまで来る。200人が機織りできる。 • (綿)毛布づくりも行っている。卸売り人は、みんな買う。なぜなら、作る量が少ないから。白コットン、ブラウン・コットンとあり、後者のほうが多い。着色しないで売る。毛布は自然染料、シャツなどは化学染料を使って(上下3,000Ks)毛布は1,000Ks。1か月1枚しか作れない(5,000で売り、4,000コスト)。 • 主な収入源は、日雇い農業労働である。日雇いは、女400Ks、草刈、草取り、ゴマの収穫作業、ヒヨコ豆の収穫作業など。男は500Ks。苗刈り、ジャガリー取り、竹細工(1日1個作る)300Ks(大)、200Ks(小)。竹は自分で取る。 • 健康面:マラリア、下痢(子供に多い。)、眼病(痛み)。下痢は主に食中毒によるものであり、症状が出たら伝統薬を飲むか助産婦に見てもらう。下痢が多い理由としては、食中毒を防ぐ方法を知らないことが挙げられる。水は沸かして飲んでいる。保健婦は村に住んでおり、月に2日間ほど他の村を訪問する以外は基本的に村にいる。保健婦も食中毒防止のための指導を行っており、痛んだ食べ物は食べない、家の中を清潔に保つ、蠅がたかった食べ物は食べない、などを教えている。 • Health CommitteeはVi.Tに一つある。薬を子供に配布する。助産婦が用法を教える。 			

3月15日(火)		Vitkan Vi.T, Myitta TS	
面会者	氏名	役職	所属先
要点			